



# 防災協会だより

令和2年1月  
冬春号  
編集・発行  
武蔵野市民防災協会  
☎60-1926

## イベント情報（1月～3月）

お出かけ前に協会ホームページ、市報むさしの等で最新情報をご確認ください。

### 防災訓練・関連イベント

1月11日(土) 地域防災セミナー（7回/8回）★ ⑦9:30～12:30/⑧13:30～16:30

1月12日(日) 武蔵野市消防団出初式 武蔵野中央公園 10:00～12:20  
式典のほか、消防演技、一斉放水、消防少年団演技、消防署はしご隊演技、亜細亜大学吹奏楽団による演奏などが実施されます。



1月18日(土) 防災ボランティア訓練 武蔵野市民文化会館 9:00～11:15



災害時にボランティアの活動拠点となる「災害ボランティアセンター」の立ち上げ訓練（センタースタッフのための訓練です）が実施されます。災害ボランティアセンターに駆けつけたボランティア役としてご協力いただける方を募集しています。申し込み・

問い合わせは市民社協☎23-0701へ。

2月15日(土) 地域防災セミナー（9回/10回）★ ⑨9:30～12:30/⑩13:30～16:30

3月11日(水) 吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練 吉祥寺駅周辺 14:00～16:00

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時など交通機関の乱れから発生する「帰宅困難者」への対策として、混乱が発生しないよう情報ステーションの開設、情報提供、一時滞在施設への誘導などの訓練が実施されます。



訓練への参加募集など詳細については後日発行される市報等をご覧ください。問い合わせは防災課☎60-1821へ。

3月14日(土) 地域防災セミナー（11回/12回）★ ⑪9:30～12:30/⑫13:30～16:30

### ★地域防災セミナー【各回共通】

災害に強くなる知恵と技～いざという時、誰でも役立つ防災知識をつけませんか？	
会場	武蔵野市役所 811会議室
主催	日本赤十字看護大学 地域連携・フロンティアセンター 武蔵野地域防災活動ネットワーク（COSMOS） 共催：武蔵野市民防災協会 協力：武蔵野市
定員	100名（定員になり次第締め切りとなります。）
参加費	300円/日（資料代） 武蔵野市内に居住または市内の大学・高校に通学する学生は無料です。
申し込み	武蔵野地域防災活動ネットワーク（COSMOS）または当協会ホームページあるいは当協会窓口に設置してありますチラシをご覧ください。
問い合わせ	日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 武蔵野地域防災セミナー事務局 ☎03-3409-0595/当協会☎60-1926

(注)詳細は、市報、当協会ホームページ等でご確認ください。

(注)イベント等は変更や追加、中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。

### 令和2年4月の予定

5日(日) 第28回武蔵野桜まつり 会場：市民公園 主催：武蔵野桜まつり実行委員会  
防災協会では会場内で防災関連用品の展示販売を行う予定です。



## 令和元年台風第19号

9月9日千葉市付近に上陸した台風第15号に続き、台風第19号やその後の前線による大雨により広範囲で被害が発生しました。

大型で強い台風第19号の接近に伴い、関東、中部、東北地方1都12県の広い範囲で「警戒レベル5」にあたる大雨特別警報が発令され、都内では豊島区、北区、練馬区や小金井市など23市区町村に発令されました。

武蔵野市にあっては、大雨警報・洪水警報・暴風警報・雷注意報が発表されていました。最大瞬間風速28.7m/s（10月12日21時04分）を観測し、浸水被害、建物被害、樹木被害、雨漏り等18件（10月16日15時00分現在）の被害があり、10月12日土曜日午前10時から翌日8時まで、第四小学校体育館、境南小学校体育館、第四中学校体育館の3か所が自主避難施設として開設され、41名の方が自主避難されたとのことです。

## その時何が起こるか想像できますか？

30年以内に70%の確率で起こるといわれている首都直下地震。

最大震度7、マグニチュード7.3、全壊・焼失家屋61万棟、死者2万3千人、要救助者7万2千人。ビル・家屋の倒壊、同時多発火災、列車の脱線、大規模停電、多数の帰宅困難者、群衆雪崩。炎の竜巻“火災旋風”、SNSに飛び交うデマ情報、通信障害。食料や水など物資の不足、通電火災、余震。大規模な土砂崩れ、河川の堤防の決壊。



これらは2013年に内閣府が公表した首都直下地震の被害想定に基づき、昨年12月にNHK総合テレビで放送された「NHKスペシャル“体感 首都直下地震”ドラマ『パラレル東京』」の内容です。

- ・大災害が私たちが襲ったときにどうなるのか、自分自身や、大切な人の身に何が起きるのか、あらかじめ知り、想像し、十分考えをめぐらせておくことの重要性をかみしめる。
- ・目の前の危機に対ししっかり備えられているかどうか、いま一度足元を確認する必要がある。
- ・みんなで“体感”し、災害を自分ごととして考え、防災減災の必要性を「自分のこと」としてとらえる。

大災害が起きていない今だからこそできることです。いま一度一人ひとりが災害が起きる前の対策と災害が発生したとき、発生したあとの行動を確認し、防災・減災・縮災に努めましょう。

## 除雪のお願い

市報むさしの 1月1日号掲載

降雪時には自宅前の道路など近助・共助・互助で雪かきをしましょう。

- (1) けが防止のために準備体操をするなど体を温めて
- (2) 帽子、手袋、長靴などを着用し防寒と安全対策を
- (3) 周囲（落雪や歩行者、車など）に気を付けて
- (4) 凍結などにより足元が滑りやすいので注意を
- (5) 雪を運ぶときは少しずつ
- (6) 腰を低く落として、背筋を伸ばして、体全体で持ち上げる
- (7) お湯をかけて雪を融かすのは、凍結の恐れがあり危険です
- (8) 作業後は整理体操も忘れずに
- (9) 無理は禁物です

